

障がいのある人も暮らしやすいまち「うしく」の実現に向けて あなたのご意見をお聞かせください

障がいは、けがや病気などで誰にでも起こり得ます。市内に、障がい者手帳を持つ人は約3千人、精神科の通院費補助を受けている人は約1千人います。ほかに、手帳や精神科の通院費補助を受けていなくても、障害福祉の対象となる難病患者や発達障がいのある人もいます。

障がいがあっても暮らしやすいまちをつくるため、市では平成26年度に新しい「障がい者プラン」をつくります。このため、広く市民の皆さんの声をお聞きしたいと考えています。障がいのある、ないに関わらず、普段の生活の中で「暮らしにくいなあ」と感じていることや「こうなれば、もっと暮らしやすくなるのになあ」と考えていることなど、ぜひ、皆さんの率直なご意見をお聞かせください。

※回答いただいた内容は、調査の目的以外には使いません。

※ご意見は、下の用紙の裏面に記載してください。

問 社会福祉課 ☎ 内線1711、1712

キリトリ

300-1290

牛久市中央三丁目十五番地 1

牛久市保健福祉部 社会福祉課 行
(障害福祉 G)



差出有効期限
平成26年1月
31日まで

(切手をはらずにこのまま投函してください)

キリトリ

●「ご意見」の送り方

①郵送の場合

- ・この便せんをキリトリ線で切り離して、「のりしろ」部分にのりを付け、記入いただいた意見が内側になるように二つに折って、はり合わせてください。
- ・切手を貼らないで、お近くの郵便ポストに投かんしてください。
- ・この便せん(封筒)は、平成26年1月31日まで使用できます。

②FAXの場合 用紙記入後、FAX 番号(☎874-0421)へ送信してください。

③Eメールの場合 Eメールアドレス(fukushi@city.ushiku.ibaraki.jp)に送信してください。

④その他

★次の各窓口で受け付けています(用紙もあります)。

社会福祉課、エスカード出張所、市中央生涯学習センター、三日月橋生涯学習センター、奥野生涯学習センター、かっぱの里生涯学習センター、牛久自然観察の森ネイチャーセンター、牛久クリーンセンター、市中央図書館

キリトリ

のりしろ

(アンケート票)

障がいのある、ないに関わらず、普段の生活の中で「暮らしにくいなぁ」と感じていることや「こうなれば、もっと暮らしやすくなるのになぁ」と考えていることなど、ぜひ、皆さんの率直なご意見をお聞かせください。

(例) ○○○するときに、△△△がなくて困った。
今は○○○だが、△△△に変わればもっと暮らしやすくなる。
○○○があったら、もっと楽しくなる。

あなた自身のことについて、当てはまるものに○を付けてください。また、()には、当てはまる内容を記載してください。

①性別	男 ・ 女
②年代	10代以下・20代・30代・40代・50代・60代・70代・80代以上
③あなた自身に あてはまるもの	障がいのある人(本人) 障がいのある人の家族 医療従事者 障害福祉サービス等事業従事者 民生委員・ボランティア それ以外の方()
④障害種別	※障がいのある人か、障がいのある人の家族が回答した場合に記載してください (複数回答可)。 身体障害 知的障害 精神障害 発達障害 難病 その他()

●●● ご協力ありがとうございました ●●●